

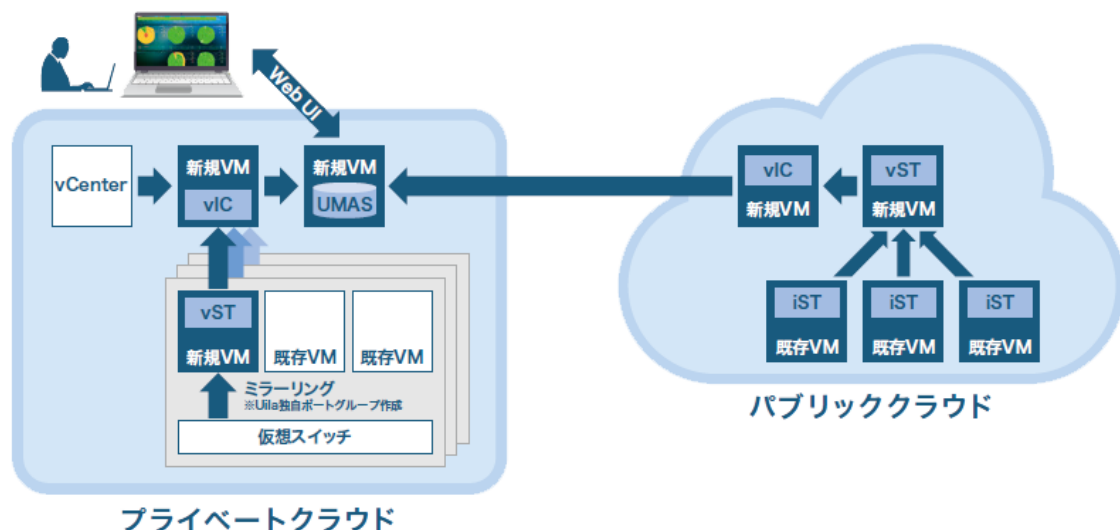
2023年5月29日
株式会社東陽テクニカ

仮想基盤・VDI の管理／監視／ボトルネック可視化ツール

Uila 社「uObserve」最新バージョン ver.5.1 を発売

～ ログ解析の集中・自動化、NVIDIA 仮想 GPU 監視をサポート ～

株式会社東陽テクニカ(本社：東京都中央区、代表取締役社長：高野 俊也、以下 東陽テクニカ)は、米国 Uila 社製の、仮想環境下の問題切り分けやボトルネックの可視化を行うための解析ソリューションソフトウェア「uObserve」最新バージョン ver.5.1 を 2023 年 5 月 29 日に販売開始いたします。最新バージョンは、ログ解析の集中・自動化、NVIDIA 仮想 GPU の監視機能を新たに提供し、トラブルシュートの効率化および GPU 対応仮想デスクトップのパフォーマンス最適化を強力に支援します。



【概要】

「uObserve」構成図

仮想基盤／VDI の可視化、分析、最適化に特化した解析ソフトウェア「uObserve」は、オンプレミス仮想化環境(VMware／Hyper-V／Nutanix AHV 環境はエージェントレス導入)とパブリッククラウド(AWS／Azure／GCP など)における VM(仮想マシン)の構成と VM 同士の通信連携、システム上のボトルネックを可視化できます。通信レスポンスの問題に対してアプリケーションと基盤のどちらに原因があるのかについての問題の切り分けや、データセンター、クラウド環境への移行など、システム環境を変更した場合の性能調査にも有効です。

東陽テクニカでは、2017 年から「Uila」としてこのソフトウェアの取り扱いを始め、国内で数多くの企業に導入してきました。近年では、オペラビリティ(可観測性)の観点から業界における反響が継続的に高まり、2022 年に製品名を「uObserve」と変更し、現在も企業内の情報システム機能の効率化を支援しています。最新バージョンでは、複数のシステムからのログに対し、特別な設定をせずに他の情報と関連付けてアクセスすることが可能となり、「uObserve」で収集したアプリケーション、サーバ、ネットワーク装置などのログについて、画面上のタイムスライダでそのトレンドを可視化することができます。個別のシステムログを調べてパフォーマンスに関わるデータと手動で

関連付ける必要を省き、トラブルシュートの効率化に寄与します。さらに NVIDIA 仮想 GPU の監視機能が追加され、この機能を使用している環境では GPU メトリクスを可視化し、GPU 対応仮想デスクトップのパフォーマンス最適化を強力に支援します。

【 Uila 社「uObserve」ver.5.1 の新機能 】

・ログ解析の集中・自動化

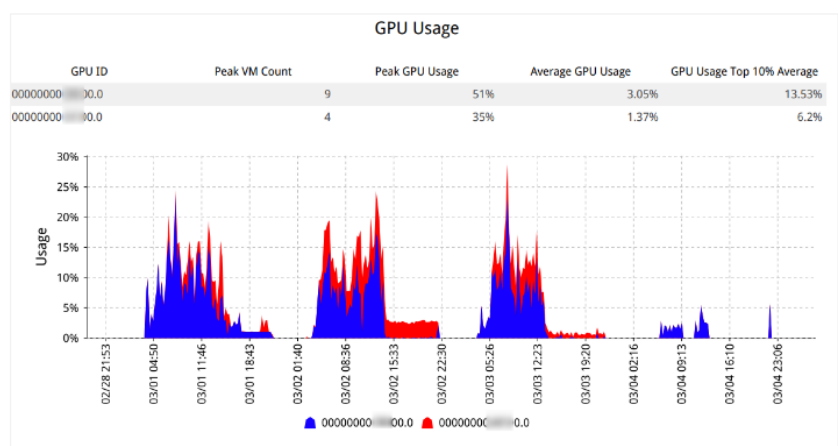
Windows(イベントおよび Active Directory)、IIS サーバ、Zscaler、Cisco、Barracuda、F5、Checkpoint、Juniper ならびに Microsoft SQL サーバ、VMware Horizon、IBM MQ、Oracle、Office 365 および複数のシステムからのログを特別な設定不要で他の情報と関連付けて、アクセスすることが可能となり、統合されたコンソールでフルスタック・オブザーバビリティ・コンテキストを利用でき、トラブルシュートの効率化を強力に支援します。



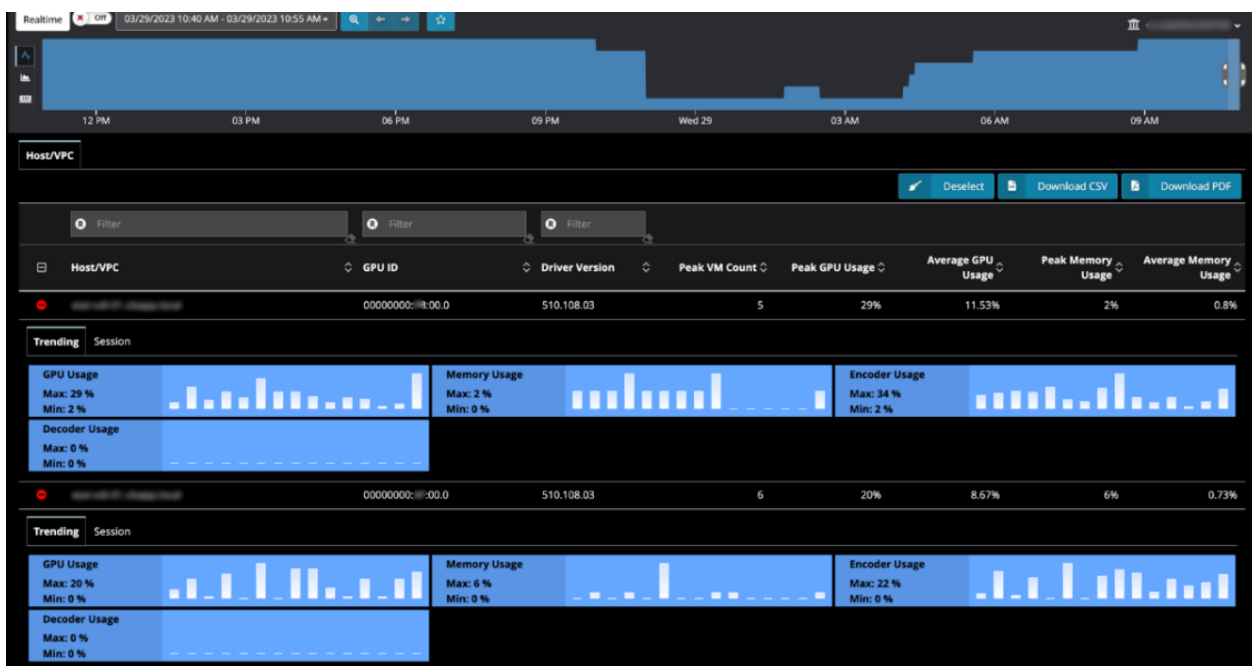
タイムスライダを使用したログの絞り込みとドーナツチャートによるログ数の可視化

・NVIDIA 仮想 GPU の監視 (Horizon VDI モニタリングライセンスに含む)

NVIDIA System Management Interface (nvidia-smi/NVSMI) を使用して NVIDIA GPU メトリクスを表示できるようになりました。GPU モニタリング機能により、個々のユーザーセッションの VM レベルのピーク GPU 使用量、フレームバッファ、GPU デコーダ/エンコーダ使用量、メモリ使用量などの重要な GPU についての洞察を得ることが出来ます。また、GPU ID、ドライババージョン、GPU を使用するユーザーセッション数、フレームバッファ、GPU デコーダ/エンコーダ、ピーク/平均 GPU およびメモリ使用量などのホストレベルのトレンドメトリクスを提供します。



画面イメージ : GPU 使用率レポート



画面イメージ：GPU、メモリ、エンコーダ/デコーダ使用率表示画面

<株式会社東陽テクニカについて>

東陽テクニカは、1953年の創立以来、最先端の“はかる”技術のリーディングカンパニーとして、技術革新に貢献してまいりました。その事業分野は、情報通信、自動車、エネルギー、EMC（電磁環境両立性）、海洋、ソフトウェア開発、ライフサイエンス、セキュリティなど多岐にわたります。5G通信の普及、クリーンエネルギーや自動運転車の開発などトレンド分野への最新の技術提供に加え、独自の計測技術を生かした自社製品開発にも注力し、国内外で事業を拡大しています。最新ソリューションの提供を通して、安全で環境にやさしい社会づくりと産業界の発展に貢献してまいります。

株式会社東陽テクニカ Web サイト：<https://www.toyo.co.jp/>

★ 本件に関するお問い合わせ先 ★

株式会社東陽テクニカ 経営企画部マーケティング課

TEL：03-3279-0771(代表) / E-mail：marketing_pr@toyo.co.jp

「uObserve」製品ページ：<https://www.toyo.co.jp/ict/products/detail/uila.html>

※本ニュースリリースに記載されている内容は、発表日現在の情報です。製品情報、サービス内容、お問い合わせ先など、予告なく変更する可能性がありますので、あらかじめご了承ください。

※記載されている会社名および製品名などは、各社の商標または登録商標です。